

教育大綱関連事業の令和3年度の成果と取り組みの方向性について

◆幼児期の取り組み

方針① すべての子どもの健やかな成長に向けた切れ目ない支援を推進します

(決算額:19,737,439 千円)

<主な事業>

◎公私連携型保育所等整備事業（ほいく課）

目的	保育需要への対応の充実を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行います。				R2決算
手段・手法	・送迎ステーション及び一時預かり事業等を実施する低年齢児型保育所等を設置するため、民間事業者が整備する施設をリースし、民間の運営法人に土地と施設を貸し付けます。				4,910 千円
R3 年度の 実績(成果) 等	指標	一時預かり利用人数	送迎ステーション 利用人数	休日保育利用人数	R3 予算現額
	予定 (目標)	2,700 人	35 人	480 人	58,910 千円
	実績	1,496 人	37 人	485 人	R3 決算
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設名称 : 公私連携型子育て支援施設 こどもの城 ・開所日 : 令和3年4月1日 ・リース期間: 令和3年3月から令和13年3月 ・施設概要 : 1階部分 <ul style="list-style-type: none"> ・公私連携型保育所ななつぼし (低年齢児を対象とした認可保育所) 定員60名 ・送迎ステーション 定員60名 ほか 2階部分 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもーる大和 				58,908 千円
R4 年度の 取り組み	公私連携型保育所等の施設を賃借します。 ・運営手法: 公私連携型保育所(民間事業者が整備した施設を市が賃借し、民間の法人が運営する民設民営。市は協定締結により、提供される教育・保育の内容へ関与。) ・実施事業: 公私連携型保育所の運営、送迎ステーション事業、一時預かり事業、休日保育、地域子育て支援拠点事業				R4 予算
R5 年度の 方向性	・運営法人が実施する利用者へのアンケートや利用者からの意見等を踏まえ、運営法人と課題の共有を行い、複合的な子育て支援施設のより良い運営方法について都度検討していきます。				R5 実施計画 (概算)
					60,408 千円

◆義務教育期の取り組み

方針② 新しい時代を生きる子ども一人ひとりの確かな学力を育みます（決算額：1,442,245千円）

<主な事業>

◎学力向上対策推進事業（指導室）

目的	児童生徒への学習支援を行うとともに、特に小学校の若手教員の指導力を養うことで、総体的に学力の向上を図ります。			R2 決算
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」「放課後子ども教室(ひろば)」を開催します。 ・小学校教員の指導力向上のための支援を行います。 ・中学校において「中学校寺子屋やまと」「長期休業期間中における学習支援」を開催し、授業中、放課後及び長期休業期間中の学習支援を行います。 ・オンライン学習システムを市内全児童生徒が使用できる環境を整備します。 			206,546千円
R3年度の 実績(成果) 等	指標	放課後寺子屋やまとの開催校	中学校放課後寺子屋やまとの開催校	R3 予算現額
	予定(目標)	19校	9校	232,712千円
	実績	19校	9校	R3 決算
	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校において、学校の空き教室等を活用した「放課後寺子屋やまと」「放課後子ども教室」を開催し、児童の学習支援を行いました。また、寺子屋と子ども教室共同で体験的な学習活動を行いました。(全19校) ・全小学校において、経験年数の少ない教員に対する指導を実施し、指導力の向上を図りました。 ・全中学校において、放課後学習支援(「放課後寺子屋やまと」)を開催し、授業中及び放課後に生徒の学習支援を行いました。また、「夏休み・冬休み寺子屋やまと」を開催し、長期休業期間中の学習支援を行いました。(全9校) 			211,732千円
R4年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生への学習支援 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の放課後の居場所と学習機会の充実を図るため、学校の空き教室、校庭、体育館等を活用し、放課後寺子屋やまと、夏休み寺子屋やまと及び放課後子ども教室を実施します。 ○中学生への学習支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年生の英語・数学において少人数指導等を実施し、基礎基本の定着を図ります。 ・午後の授業中や放課後に学び直しや入試に向けた学習支援を行います。 ・夏休み及び冬休みに、希望する中学校3年生を対象に入試に向けた学習支援を行います。 			R4 予算
R5年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校放課後寺子屋やまと及び放課後子ども教室において学習等に必要の消耗品・備品を、さらに充実させるとともに、1人1台端末を活用した学習に対応するため、Wi-Fi等の設備環境を充実させる必要があります。 			233,543千円
				R5 実施計画(概算)
				236,316千円

<主な事業>

◎小学校図書館教育推進事業（指導室）

目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 ・各小学校の学校図書館に学校司書を配置します。 ・学校図書館に配架している新聞を普通教室に配架します。 ・子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催します。 		
R3 年度の 実績(成果) 等	指標	学校図書館蔵書数 全19校合計	学校図書館図書標準充足校
	予定 (目標)	217,160 冊	19 校
	実績	218,784 冊	19 校
	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入しました。 ・各小学校に学校司書を1人配置しました。 ・蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めました。 ・学校図書館、小学校の5、6年生各教室及び特別支援級の教室に新聞を配架しました。 ・読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催しました。 ・学校図書館の安全対策及び環境整備のため備品の購入を行いました。 		
R4 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき図書を整備します。 ・各小学校に学校図書館司書を配置します。 ・蔵書管理システムを運用し、データの活用を進めます。 ・図書館、小学校の5、6年生及び特別支援級の教室に新聞を配架します。 		
R5 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の充足率と鮮度を踏まえた選書を継続実施してまいります。 ・児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の実現のため、学校図書館に「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させてまいります。 ・各教科の特質を踏まえつつ新聞を有効活用することで、児童の豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。 		

R2 決算	56,735 千円
R3 予算現額	48,809 千円
R3 決算	47,570 千円
R4 予算	47,881 千円
R5 実施計画 (概算)	52,370 千円

◎中学校図書館教育推進事業（指導室）

目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 ・各中学校の学校図書館に学校司書を配置します。 ・学校図書館に配架している新聞を普通教室に配架します。 ・子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催します。 		
R3年度の実績(成果)等	指標	学校図書館蔵書数 全9校合計	学校図書館図書標準充足校
	予定(目標)	127,760冊	9校
	実績	140,780冊	9校
	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入しました。 ・各中学校に学校司書を1人配置しました。 ・蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めました。 ・学校図書館、中学校の普通級の各教室及び特別支援級の教室に新聞を配架しました。 ・読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催しました。 ・学校図書館の安全対策及び環境整備のため備品の購入を行いました。 ・上和田中学校が令和3年度「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰を受賞しました。 		
R4年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき図書を整備します。 ・各中学校に学校図書館司書を配置します。 ・蔵書管理システムを運用し、データの活用を進めます。 ・図書館、中学校全学年及び特別支援級の教室にデジタル版を含む新聞を配架します。 		
R5年度の方角性	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の充足率と鮮度を踏まえた選書を継続実施してまいります。 ・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の実現のため、学校図書館に「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させてまいります。 ・各教科の特質を踏まえつつ新聞を有効活用することで、児童の豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。 		

R2 決算	35,455 千円
R3 予算現額	33,028 千円
R3 決算	32,253 千円
R4 予算	30,471 千円
R5 実施計画(概算)	31,823 千円

<主な事業>

◎北大和小学校増築事業（教育総務課）

目的	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。		R2 決算
手段・手法	・敷地西側に校舎を増築し、また、既存プレハブやプールの解体、体育館の建替え、校庭整備等を行います。		46,966 千円
R3 年度の 実績(成果) 等	指標	工事実施校数	R3 予算現額
	予定 (目標)	1 校	118,452 千円
	実績	1 校	R3 決算
	・北大和小学校体育館建替工事を実施しました。		117,982 千円
R4 年度の 取り組み	・北大和小学校の体育館建替工事及びそれに伴う付帯工事、校庭整備などを行います。		R4 予算
R5 年度の 方向性	・児童数の増加に伴う教室不足等を解消し、快適な教育環境を確保するよう努めます。		562,530 千円
	・工事開始に伴い、児童及び教職員等の安全を確保し、学校生活への影響を最小限にできるよう調整を行いました。引き続き、安全の確保を行いながら工事を実施します。		R5 実施計画 (概算)
			16,506 千円

◎中央林間小学校増築事業（教育総務課）

目的	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。		R2 決算
手段・手法	・敷地西側に校舎を増築します。		184,582 千円
R3 年度の 実績(成果) 等	指標	工事実施校数	R3 予算現額
	予定 (目標)	1 校	549,950 千円
	実績	1 校	R3 決算
	中央林間小学校の校舎増築工事を行いました。 <事業内容及び決算額の内訳> ・増築校舎:鉄筋コンクリート造4階建て 防音仕様 延床面積:約1,318㎡(普通教室6室、第2職員室) ・令和2～3年度 増築併行防音工事 令和4年4月 使用開始		547,301 千円
R4 年度の 取り組み	・令和2～3年度で実施した中央林間小学校の増築に伴う校庭整備工事を行います。		R4 予算
			63,156 千円
R5 年度の 方向性	— (令和4年度で事業終了)		R5 実施計画 (概算)
			—千円

<主な事業>

◎引地台中学校分教室整備事業（指導室）

目的	不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設として、引地台中学校分教室を整備します。		
手段・手法	・不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設として、柳橋小学校敷地内に新設した引地台中学校分教室を整備するため、内外装やネットワーク整備のための改修工事等を実施するとともに、必要となる消耗品の購入等を実施します。		R2 決算 0 千円
R3 年度の 実績（成果） 等	指標	在籍予定生徒数	R3 予算現額
	予定 （目標）	30 人	43,281 千円
	実績	13 人	R3 決算
	・個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援・指導の充実のため、施設用及び指導用消耗品を購入しました。 ・柳橋小学校内に設置していた理科センターを桜丘小学校内に移設しました。 ・教育研究所旧理科センターの改修工事を行い、不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設としての環境整備を実施しました。		
R4 年度の 取り組み	・不登校状態が長期化した生徒のために、引地台中学校分教室を令和4年4月に開校します。 ・開校後も、通学する生徒が通いやすい施設に整備するため、2階部分の改修工事を実施します。		R4 予算 18,199 千円
R5 年度の 方向性	・子どもたちの学びの場の1つとして、広く周知を図っていきます。 ・個々の教育的ニーズに対応するため、引き続き施設用及び指導用の物品整備し、生徒への充実した指導のため、改修工事等による環境の整備を行います。		R5 実施計画 （概算） 10,600 千円

<主な事業>

◎学力向上対策推進事業（指導室）【再掲】

※学力向上対策推進事業は、「方針② 新しい時代を生きる子ども一人ひとりの確かな学力を育みます」と「方針⑥ 放課後の居場所づくりを推進します」における主な事業として扱います。

◆ 幼児期～義務教育期～青年・成人期の取り組み

方針⑦ 健康に関する教育を推進します

(決算額:384,578 千円)

<主な事業>

◎母子保健相談指導事業（すくすく子育て課）

目的	安全な出産を迎えるために母体の健康管理を行うこと、出産後の健康管理や育児・健康面における情報提供や相談に対応することで、子育て家庭の支援を行います。				
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を受理し、母子健康手帳を交付します。 ・妊娠・出産に向けた知識の普及啓発のための各種教室を開催します。 ・2歳児歯科相談および育児相談を開催します。 ・1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として「おやこ教室」を開催します。 ・「子育て何でも応援メール」を、LINE, Twitter, メールで配信します。 				
R3年度の 実績(成果) 等	指標	プレママ・パパ教室、イクメン講座 参加者延べ数	もぐもぐ教室 参加者数	1歳児育児 教室参加者数	2歳児歯科 相談利用者数
	予定 (目標)	585人	330人	465人	360人
	実績	742人	283人	35人	172人
	R3年度の実績(成果)等	<ul style="list-style-type: none"> ・プレママ・パパ教室:36回 ・もぐもぐ教室 :24回 ・2歳児歯科相談 :12回 ・おやこ教室 :24回 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は一部の事業を中止していましたが、令和3年度は順次再開しました。 ・イクメン講座 : 3回 ・1歳児育児教室 : 3回 ・育児相談 :36回 			
R4年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期におけるさまざまな情報を細やかに提供して不安軽減を図り、子育て家庭が健やかに育児ができるよう支援を行います。 ・父親の育児参加の推進を図るとともに、多様な家族形態に対応できるよう、母子健康手帳の名称を「親子健康手帳」に変更します。 ・妊娠・出産に向けた知識の普及啓発のための「プレママ・パパ教室」「イクメン講座」を開催します。 ・1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として「おやこ教室」を開催します。 ・「子育て何でも応援メール」の利用促進に努めます。 				
R5年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室・相談事業について、感染症予防対策を講じ、妊婦やその夫、保護者が安心して参加できるように運営方法・教室内容の見直しを行い、配慮します。 ・子育て何でも応援メールについては、子育て情報を得やすいツールとして、より多くの方に利用いただけるよう、引き続き、周知に努めます。 				

R2 決算	4,896 千円
R3 予算現額	6,368 千円
R3 決算	5,914 千円
R4 予算	6,355 千円
R5 実施計画 (概算)	6,424 千円

方針⑧ あらゆる世代の知性を高め人生を豊かにする読書活動を促進します

(決算額: 684,449 千円)

<主な事業>

◎図書館管理運営事業（図書・学び交流課）

目的	図書館の円滑な管理運営を行います。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行います。 図書館の運営に必要なインフラの管理をします。 		R2 決算
R3 年度の 実績(成果) 等	指標	指定管理者との協議回数	581,691 千円
	予定 (目標)	6 回	R3 予算現額
	実績	6 回	608,366 千円
	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館を中心とする3つの図書館において、それぞれの特性に合わせたさまざまなサービスを展開し、市民が本に親しむことのできる機会を提供することができました。 中央林間図書館については、区画を拡充し、新しい区画には36席の閲覧席を設置しました。 こども読書よむ読むプランを策定しました。 		R3 決算
R4 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 大和市長立図書館、中央林間図書館、渋谷図書館の管理運営を行います。 「絵本のまち」の具現化に向けて、次の事業等を実施します。 セカンドブック事業: 3歳6か月健診において絵本の引換券を配布し、図書館3館でセカンドブックバックをプレゼントします。 まちなか絵本スポット事業: 子どもが気軽に出入りできる公共施設や民間施設に、図書館の蔵書貸出を行います。 電子図書館: 定額制及び買切り型書籍により電子図書館の充実・強化を図ります。 やまと絵本大賞 : 商業出版したことのない高校生以上の方を対象に作品を募集し、絵本大賞を決定します。 		R4 予算
	<ul style="list-style-type: none"> 大和市長立図書館、中央林間図書館、渋谷図書館の管理運営を行います。 「絵本のまち」の具現化に向けて、次の事業等を実施します。 セカンドブック事業: 3歳6か月健診において絵本の引換券を配布し、図書館3館でセカンドブックバックをプレゼントします。 まちなか絵本スポット事業: 子どもが気軽に出入りできる公共施設や民間施設に、図書館の蔵書貸出を行います。 電子図書館: 定額制及び買切り型書籍により電子図書館の充実・強化を図ります。 やまと絵本大賞 : 商業出版したことのない高校生以上の方を対象に作品を募集し、絵本大賞を決定します。 		595,020 千円
	<ul style="list-style-type: none"> 大和市長立図書館、中央林間図書館、渋谷図書館の管理運営を行います。 「絵本のまち」の具現化に向けて、次の事業等を実施します。 セカンドブック事業: 3歳6か月健診において絵本の引換券を配布し、図書館3館でセカンドブックバックをプレゼントします。 まちなか絵本スポット事業: 子どもが気軽に出入りできる公共施設や民間施設に、図書館の蔵書貸出を行います。 電子図書館: 定額制及び買切り型書籍により電子図書館の充実・強化を図ります。 やまと絵本大賞 : 商業出版したことのない高校生以上の方を対象に作品を募集し、絵本大賞を決定します。 		R5 実施計画 (概算)
R5 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、指定管理者と連絡、調整を行いながら、図書館運営のさらなる充実を図り、図書館城下町にふさわしい施策の推進に努めていきます。 		571,688 千円

<主な事業>

◎やまと成人式開催事業（こども・青少年課）

目的	都市宣言の理念のもとに生まれた青少年が、人生の節目の日を自ら祝うため、実行委員として企画運営に参加し、有意義なイベントを作り上げていきます。				R2 決算
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・式典対象の市民が主体となり開催できるよう、本年20歳になる対象者と昨年以前の式典実行委員経験を中心とした実行委員会を組織します。 ・実行委員会に企画・運営・実施を委託します 				1,281 千円
R3 年度の 実績(成果) 等	指標	実行委員会の開催 数	新成人実行委員の 募集	参加人数	R3 予算現額
	予定 (目標)	16 回	10 人	2,800 人	12,269 千円
	実績	27 回	8 人	2,725 人	R3 決算
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、新型コロナの影響で延期した令和2年度式典を含め、年2回の式典を開催しました。 				11,563 千円
R4 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、出席者と当日運営に関わるボランティア等の安全を考慮しながら実施する必要があります。 				R4 予算
				6,943 千円	R5 実施計画 (概算)
R5 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を継続しつつ、式典の運営や手法について検討を重ねていきます。また、実行委員会における効率的な会議の運営などについて継続して検討する他、参加者にとって一生に一度の式典が心に強く残るものになり、大和市への愛着を持ってもらうための効果的な演出方法等を検討していきます。 				6,943 千円

◎人権啓発事業（国際・男女共同参画課）

目的	人権尊重の重要性を認識し、人権意識の普及高揚を図ります。				
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間に関連した啓発事業、講演会を開催します。 ・市内小中学校向けに人権教室を開催します。 ・中学生人権作文コンテスト・ポスター募集を実施します。 ・人権団体主催の講演会や研修会に市民・職員の参加、派遣を行います。 				R2 決算
					1,481 千円
R3 年度の 実績(成果) 等	指標	人権教室開催数	人権作文コンテスト 応募者数	人権啓発資料配布 実施回数	R3 予算現額
	予定 (目標)	4 回	650 人	4 回	2,284 千円
	実績	1 回	556 人	4 回	R3 決算
	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民が人権について理解を深め、考える機会を提供できるよう、人権擁護委員とともに啓発活動を実施しました。 ・パートナーシップ宣誓制度の開始に合わせ、職員、市民、関係団体に理解を深めるためのリーフレット等を作成・配布し、さらに市内中学生向けには授業で活用してもらうための人権啓発全般に関する冊子を配布するなど周知啓発に努めました。 				1,643 千円
R4 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間に関連した啓発事業、講演会を開催します。 ・市内小中学校向けに人権教室を開催します。 ・中学生人権作文コンテスト・ポスター募集を実施します。 ・人権団体主催の講演会や研修会に市民・職員の参加、派遣を行います。 				R4 予算
					2,150 千円
R5 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民が人権について考える機会を増やしていけるよう、人権擁護委員の日、人権週間の啓発活動を効果的に実施し、中学校には人権擁護委員が直接学校に働きかけて、人権作文コンテストやポスター募集への積極的な参加を促します。また、多様性を尊重する社会の実現を目指し、広報他あらゆるパブリシティを使ってパートナーシップ宣誓制度や、やまとSOGI 派遣相談の認知を高めていきます。 				R5 実施計画 (概算)
					2,134 千円